

The background features a complex arrangement of light gray lines and clusters of dots. A large, irregular shape with rounded corners is defined by a single line, containing the text. Other lines intersect this shape and the page. Clusters of dots of varying sizes are scattered throughout, including a large cluster in the top right, a medium one in the middle left, a small one in the middle, a vertical one in the bottom left, and another medium one in the bottom right.

P I M C O

—“—
「PIMCOでは社員一人ひとりがお客様に最良のソリューションをご提供するべく、日々業務に取り組んでいます。私たちは決して現状に満足しません。変化の激しい市場の中で、来るべき課題に対して、新たな可能性を見出さねばなりません。」

— エマニュエル・ローマン 最高経営責任者 (CEO)

—”—

| | |
|---------------------------------------|-------|
| PIMCOグループの概要..... | 4-7 |
| 変化と革新の歴史..... | 8-9 |
| PIMCOを支える多様な視点と、実証されてきた独自の運用プロセス..... | 10-13 |
| 高い専門性を生かし、幅広い投資機会を見出す..... | 14-15 |
| 日本と世界をつなぐ、ピムコジャパン..... | 16-19 |
| 社会によい変化をもたらす..... | 20-21 |
| PIMCOグループの代表的な受賞歴..... | 22-23 |

公募、私募の両市場において 高い専門性を有する 債券アクティブ運用のグローバルリーダー、 PIMCO



()内は各拠点の開設年。2024年3月時点。

PIMCO (パシフィック・インベストメント・マネジメント・カンパニー・エルエルシー) は、1971年に米国カリフォルニア州ニューポートビーチで設立されました。PIMCOの世界観は設立以来50年以上にわたり一貫してウォール街に本拠地を構える多くの金融会社とは一線を画し、公募、私募の両市場における高い専門性を生かし、多くの様々な投資家の皆様の運用目標達成のお手伝いをしてきました。

いまでは債券のアクティブ運用のグローバルリーダーとして、投資機会を見つけるだけでなく、投資機会を創りだすことを目指しています。半世紀以上にわたり培ってきた経験を最大限に生かし、今後もお客様の投資目標達成のために全力を尽くしてまいります。

世界中の英知を結集し、 お客様のために最善を尽くします

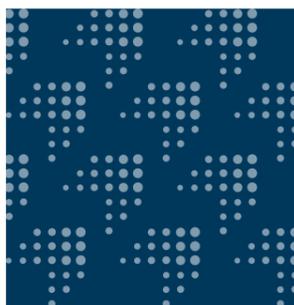
PIMCOはお客様とのパートナーシップがもっとも重要だと考えています。私たちが運用する全てのポートフォリオは、PIMCOの社員が持つスキルと経験に支えられています。なかでも、世界各地の拠点に在籍する960名以上の投資プロフェッショナルたちは、ファイナンスから政治学、物理学に至る様々な分野の経歴を持っています。

21,500+
PIMCO独自の格付を付与した銘柄数




50+
年
50年以上におよぶ
アクティブ運用経験年数

130+
名
オルタナティブ戦略専任
ポートフォリオ・
マネージャー数



約262兆円*
運用資産総額



3,365+
名
世界各地の拠点に在籍する役職員数**




350+
名
PIMCO在籍期間が10年を超える
投資プロフェッショナル数



23
カ所
米国や欧州、アジアに広がる
グローバル拠点数



14
セクター別専門デスク数



80+
名
クレジット・アナリスト数



280+
名
平均17年の投資経験を有する
ポートフォリオ・マネージャー数



(2023年12月31日時点)

*1米ドル=140.980円で換算。第三者からの委託による1.48兆ドルを含みます。PIMCO PRIME REAL ESTATE (旧アリアンツ・リアルエステート)の運用資産822億ドル(2023年9月30日時点)が含まれます。

**役職員数は、PIMCO Prime Real Estate 分を含みません。

PIMCOは変化し続ける世界で、 投資機会の発掘に努めてきました

日々変化し続ける世界の中では、周到な準備があってこそ良い成果が出せると、PIMCOは信じています。徹底した調査と分析により、変化する世界のリスクと投資機会を継続的に評価し、進化するお客様のニーズにお応えする最良なソリューションの構築を目指しています。

私たちは投資パフォーマンスの達成にとどまらず、投資に関する様々な知見の提供や、運用に必要なツールやリソースへの投資を通じて、お客様の投資目標の達成を支援しています。

PIMCOの歩み (青字はピムコジャパンリミテッドに関する出来事)

1971

PIMCO創設
トータル・リターン戦略
運用開始
“トータル・リターン”の
コンセプト導入

1975

トータル・リターン戦略に
モーゲージ債の
組み入れを開始

1978

ロー・デュレーション
(短期債) 戦略運用開始

1980

長期経済予測会議(セキュ
ラー・フォーラム) 開始

1986

S&P500®先物指数取引が
開始された4年後に、
ストックプラス®戦略の運
用を開始。株価指数先物
とアクティブ債券運用を合
わせて構築する、画期的
なポータブル・アルファ
戦略

1987

グローバル債券運用開始

1988

ロング・デュレーション
(長期債)戦略運用を
いち早く開始

1989

社会的責任投資を開始

1990

グローバル債券と
モーゲージ債運用に特化
した戦略の運用を米国外
から初めて受託

1994

CMBS(商業不動産担保
証券) 戦略運用開始

1997

東京、シドニーに事務所
を開設

米国物価連動債(TIPS)の
最初の入札が開始された
同日に、TIPSへ投資する
戦略の運用を開始

1998

ロンドンに事務所を開設

2000

コモディティ運用開始。
その後、世界最大級のコ
モディティ運用会社へと
成長

2002

東京で債券運用を
開始—日本債券コア
プラス戦略運用開始

2004

PIMCO スピーカーズ・
シリーズ開始

「アジア・インバスター
誌 運用実績賞」日本債券
部門受賞

オルタナティブ運用開始

2005

年金基金を含む機関投資家
向けにオルタナティブ
運用商品の提供を開始

PIMCOの株式戦略に
リサーチ・アフィリエイツ
社が主導する「スマート・
ベータ」を導入

2006

クレジット・チームが
住宅価格のバブルの可能
性に警鐘をならす。サブ
プライムローンへの投資
から転換

2007

インカム戦略をミュー
チュアルファンドとして
運用開始

オルタナティブ・クレジ
ット戦略、プライベート投資
戦略の運用開始。両分野
において、存在感を示す

2008

2009年のギリシャ危機が
明るみになる前に、
PIMCOでは財政難にある
欧州国債投資を回避

2009

アクティブ運用型ETF
(上場投資信託) をいち
早く導入。世界最大級の
アクティブETF運用会社
の一社へ成長*

2012

日本債券コアプラス戦略
が運用年数10年を達成

マーク・キーセルが、米国
モーニングスター年間最優秀
債券マネージャー賞受賞

2013

ダニエル・アイバシ、
アルフレッド・ムラタが、
米国モーニングスター
年間最優秀債券マネー
ジャー賞受賞

2014

日本の投資家向けに
インカム戦略提供開始

2015

日本のお客様から受託し
た資産残高が10兆円を
超える

ジェローム・シュナイダー
とPIMCOの運用チームが
米国モーニングスター
年間最優秀債券マネー
ジャー賞受賞

PIMCO グローバル・アド
バイザリー・ボードの設立

2016

プライベート・クレジット
戦略運用開始

2017

日本のお客様から受託し
たPIMCOインカム戦略の
残高が1兆円を超える

グローバルESG投資
プラットフォームを構築。
お客様のESG投資の目標
達成をサポートするのみ
ならず、PIMCOの運用規
模と長期にわたる発行体
との関係性を生かし、
債券におけるESGのエン
ゲージメントをリード

2018

ESG投資年次レポート第
1号発行

オースティン、台北に
オフィス開設

シカゴ大学意思決定研究
センターと行動科学の研
究におけるパートナーシップ
締結

2019

サステナビリティをテー
マにした気候変動対応債券
戦略の運用を開始。気候
変動への施策に注目した
世界初の債券戦略の一つ

2020

アリアンツ・リアル
エステートを傘下に収め、
2,000億ドル以上の不動産
資産を運用する世界最大
級の不動産プラット
フォームとなる**

2023

アリアンツ・
リアルエステートを
PIMCO Prime Real
Estateに社名変更

* 出所: ETF.COM、2023年12月31日時点

** 2023年9月30日時点。完全子会社であるPIMCO Prime Real Estate(旧アリアンツ・リアルエステート)と契約している顧客の989億米ドル(推計グロス)が含まれます。

PIMCOを支える多様な視点と、 実証されてきた独自の運用プロセス

PIMCOの運用プロセスは、50年以上にわたり複雑な債券市場を乗り越えてきた経験を生かして作られ、多くのお客様にご信頼いただいています。

PIMCOの運用プロセス

その運用プロセスは5つの柱に支えられています。世界各国のチームから投資のベストアイデアを結集し、リスクや投資機会に関する情報を多様な視点からポートフォリオ・マネージャーに提供できるように設計されています。

マクロ経済テーマ

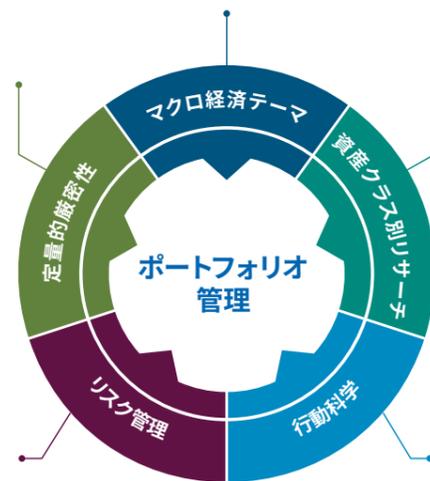
年1回開催される長期経済予測会議（セキュラー・フォーラム）では、長期的な投資テーマについて議論します。短期経済予測会議（シクリカル・フォーラム）は年3回開催され、長期的な投資テーマを足元の市場や経済状況を鑑み、より短期的な見通しに反映します。

定量的厳密性

クオンツ運用の専門家がポートフォリオ管理のすべての側面に関わり、テクノロジーと独自分析を活用して、データに基づく視点を提供しています。

リスク管理

強固なリスク管理の枠組みは、プロセスの中核をなしています。ポートフォリオや会社全体にとってのリスクを顕在化させ、各種ツールを活用しながらリスクを管理、分散しています。



資産クラス別リサーチ

世界各地のクレジット・アナリストや各資産クラスの専門家たちが、徹底した分析を行い、世界の公募、私募両市場での相対的価値を見出しています。

行動科学

PIMCOの運用プロセスでは、行動科学を実践的に取り入れています。投資アイデア創出の最大化やバイアスの特定のほか、日々の業務や考え方を継続的に評価し改善しています。

ポートフォリオ管理

ポートフォリオ・マネージャーは、こうした要素を全て考慮し、複数の投資価値の源泉を重視したポートフォリオを構築します。様々なシナリオに対するポジションを確保しながら、最適なリスク調整後リターンをもたらす可能性のある投資を目指します。

*上記はイメージ図



フォーラム開催中の写真

PIMCOの運用実績を支える 深い洞察力と長年の経験

PIMCOではチームで投資判断をしています。グループCIOのダニエル・アイバシンが率いる運用体制のもと、アイバシンと5名のCIOそれぞれが個別の資産クラスや戦略を担当、統括しています。



DANIEL J. IVASCYN
(ダニエル・J・アイバシン)
グループ最高投資責任者
(グループ CIO)



ANDREW BALLS
(アンドリュー・ボールズ)
グローバル債券担当
最高投資責任者 (CIO)



MARK R. KIESEL
(マーク・R・キーセル)
グローバル・クレジット担当
最高投資責任者 (CIO)



MOHIT MITTAL
(モヒト・ミッタル)
コア戦略担当
最高投資責任者 (CIO)



MARC P. SEIDNER, CFA
(マーク・P・サイドナー, CFA)
非伝統的戦略担当
最高投資責任者 (CIO)



QI WANG
(チー・ワン)
ポートフォリオ執行担当
最高投資責任者 (CIO)

外部から新鮮な視点を取り入れる

PIMCOの運用プロセスでは、新しい考え方や異なる視点を積極的に取り入れています。その一環として外部から専門家を招聘し、その知見を共有したうえでPIMCOの見解を検証しています。世界的に著名なマクロ経済の専門家や政策当局の経験者、ノーベル賞受賞者などから構成されるグローバル・アドバイザリー・ボード (GAB) のメンバーをはじめ、外部アドバイザーやフォーラムの外部講演者は、フォーラムの議論に貢献するなど、外部専門家としての役割を担っています。



研究機関とのパートナーシップ

2018年、PIMCOは投資に潜在的に重要な意味があると考えられる領域に関する研究をサポートするパートナーシップ契約を締結しました。

PIMCO意思決定調査研究所

PIMCOは長年にわたり、多様な視点を醸成し、自分たちの考え方に疑問を呈することがより良い投資結果につながると考えています。シカゴ大学ブース・スクール・オブ・ビジネスのRoman Family 意思決定研究センター(CDR) との長きにわたる協力的なパートナーシップを通じて、PIMCO意思決定調査研究所を進化させ、「マインドワークス (Mindworks)」と呼ばれる意思決定調査研究・発見センターをシカゴの中心部に開設しました。

カリフォルニア工科大学特別研究員奨学金制度

計算および数学サイエンス学科の博士研究員2名と大学院生2名を支援し、データサイエンス、機械学習と経済学における研究者との重要な関係性を構築しています。



グローバル・アドバイザリー・ボード (GAB)



年に数回、ニューポートビーチ本社において会合を開き、経済予測会議 (フォーラム) に貢献しています。

ベン・バーナンキ博士

グローバル・アドバイザリー・ボード議長
米連邦準備制度理事会 (FRB) 元議長
米ブルッキングス研究所 特別研究員

ジョシュア・ポルテン氏

米ビジネスラウンドテーブル社CEO/社長
元米国大統領首席補佐官

ゴードン・ブラウン博士

英国元首相および英国元財務大臣

マーク・カーニー博士

国連気候変動対策・ファイナンス担当特使
イングランド銀行総裁およびカナダ銀行 (中央銀行) 元総裁

ミシェル・フロノイ氏

米新アメリカ安全保障センター (CNAS) 共同設立者
元米政策担当国防次官

(2024年3月31日時点、写真左から)

外部アドバイザー



定期的に外部から高い専門性を有するアドバイザーを招聘し、金融市場に重要な影響を及ぼす分野に関する知見を取り入れています。

リチャード・セイラー氏

リタイアメント・行動経済学シニア・アドバイザー
シカゴ大学ブース・スクール・オブ・ビジネス チャールズ・R.ウォールグリーン行動科学および経済学特別功労教授
2017年ノーベル経済学賞受賞

セキュラー・フォーラムにおける外部講演者

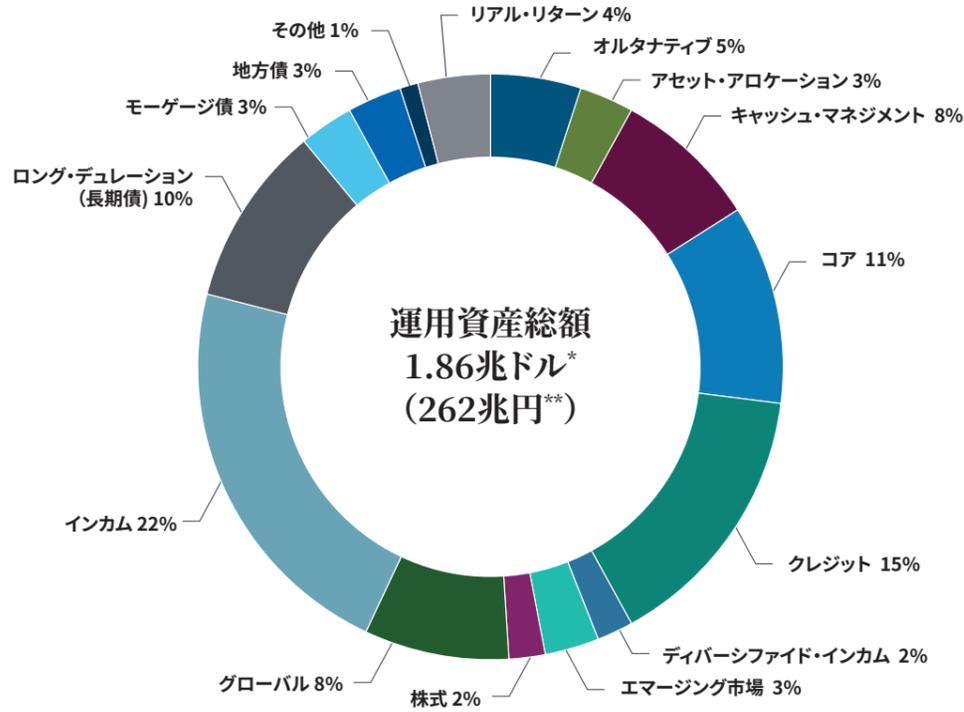


経済、金融、歴史、政治などの各分野から外部講演者を招き、活発な議論を行います。1980年にセキュラー・フォーラムを開始して以来、延べ150名以上におよぶ外部講演者の知見を投資に活用してきました。

| | | |
|-------|---------------|-----------------------------------|
| 2013年 | ロバート・ゼーリック氏 | 世界銀行元総裁 |
| 2014年 | サー・ポール・タッカー氏 | イングランド銀行元副総裁 |
| 2015年 | ジャンクロード・トリシェ氏 | 欧州中央銀行前総裁 |
| 2016年 | マービン・キング氏 | イングランド銀行前総裁 |
| 2017年 | ターリ・シャーロット氏 | 神経科学者、ロンドン大学 アフェクティブ・ブレイン研究所所長 |
| 2018年 | スタンレー・フィッシャー氏 | 米連邦準備制度理事会(FRB) 元副議長 |
| 2019年 | ジャネット・イエレン氏 | 米連邦準備制度理事会(FRB) 前議長 |
| 2020年 | マーク・カーニー博士 | 国連気候変動対策・ファイナンス担当特使 |
| 2021年 | カイフ・リー氏 | コンピューター科学者、起業家、投資家 |
| 2022年 | ネハ・ナルラ | MITデジタル通貨イニシアチブ・ ディレクター |
| 2023年 | ティム・アダムス | 国際金融協会理事兼CEO |

公募、私募の両市場における高い専門性を生かし、幅広い投資機会を見出す

PIMCOは、世界中の中央銀行、政府系ファンド、年金基金、事業会社、財団、基金、個人のお客様からお預かりした資産を運用しています。その運用規模や、公募、私募の両市場における高い専門性を生かした商品プラットフォームを構築し、様々な投資機会を見出しています。



* 2023年12月31日時点。第三者からの委託による1.48兆ドルを含みます。PIMCO Prime Real Estate (旧アリアンツ・リアルエステート) の運用資産822億ドル (2023年9月30日現在) が含まれます。同社はPIMCOおよびPIMCO ヨーロッパ GMBH (PIMCO Prime Real Estate GmbH、PIMCO Prime Real Estate LLC およびその子会社、関連会社を含む) の関係会社であり100%子会社です。PIMCO Prime Real Estate LLCの投資プロフェッショナルは、パシフィック・インベストメント・マネジメント・カンパニー・エルエルシーとの兼任で、投資運用およびその他のサービスを提供しています。PIMCO Prime Real Estate GmbHはPIMCOとは別に運営されています。戦略別内訳は第三者からの受託資産ベースです。

** 1米ドル=140.980円で換算。

円債アクティブ運用のパイオニア

PIMCOの日本債券アクティブ運用は2002年以降20年以上にわたり、この分野におけるパイオニアとして、旗艦運用である日本債券コアプラス運用をはじめ、多彩な日本債券アクティブ運用戦略を取り揃えています。幅広い超過収益源泉に分散し、安定した超過収益の獲得を目指す戦略など、各戦略にはPIMCOの運用力と分析力が最大限に生かされています。

進化する投資ニーズに向けた画期的なソリューション、オルタナティブ戦略の強み

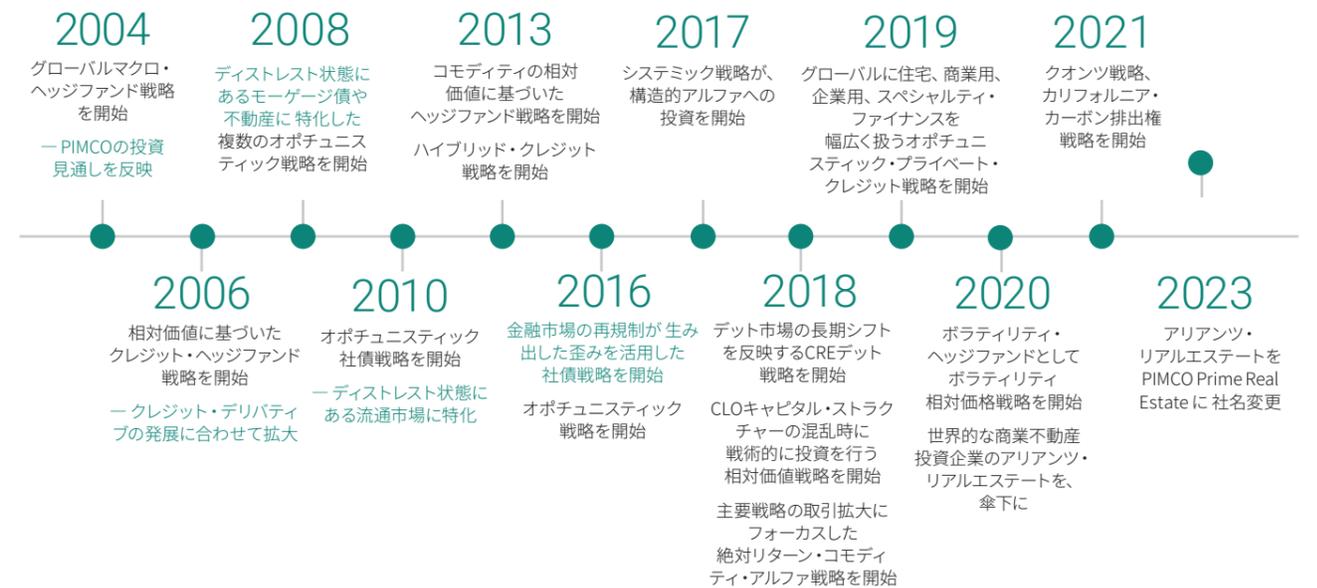
PIMCOは債券のアクティブ運用会社として50年以上の間に数多くの市場環境を経験してきました。その過程で培われたマクロ経済分析やリサーチ力を基盤とした投資プロセス及びプラットフォームがあったからこそ、現在、複雑性の高いオルタナティブ戦略の運用体制を整備することができています。

過去15年以上にわたり、このような幅広い視座を背景に、グローバル・マクロ戦略からコモディティ、リスク・プレミアム、ストラクチャード・クレジット、企業クレジット、住宅用・商業用不動産に至る革新的な戦略を通じて、新しい潜在的な投資機会へのアクセスを投資家の皆様にご提供してきました。

また2020年には世界的な商業不動産投資企業のアリアンツ・リアルエステート (現、PIMCO Prime Real Estate) を、経営陣を含めて正式に傘下に収めました。これによりコア、コアプラス、バリュー・アッド、オポチュニスティック戦略などの不動産資産を抱える、世界最大級で最も幅広く分散された商業不動産のプラットフォームのもとでの運用が可能になりました。

現在では、130名以上*のオルタナティブ戦略専任ポートフォリオ・マネージャーが、世界各地の投資プロフェッショナルと共に、約1,720億ドル (約25兆円) 超**のオルタナティブ資産を運用しています。

これまでの軌跡



* 2023年12月31日時点。

** 2023年9月30日時点。1米ドル=149.225円で換算。

日本と世界をつなぐ、ピムコジャパン

世界の債券アクティブ運用をリードする運用会社としてのPIMCOの投資経験と、専門知識を日本の機関投資家・個人のお客様へお届けするため、1997年、ピムコジャパンリミテッド（ピムコジャパン）は設立されました。



ピムコジャパンは、1997年の設立以来 25年以上にわたって日本のお客様の資産運用ニーズに向き合い、債券のアクティブ運用に強みを持つ運用会社だからこそ可能な投資機会の開発と、運用サービスのご提供に努めてまいりました。

刻々と変化するマーケットと共に、お客様のニーズも刻々と変化しています。私たちの使命は、こうしたお客様の資産運用のニーズに耳をかたむけ、新たな投資機会を創造・発掘し、お客様の目標達成の成功をサポートすることです。

2023年9月より新体制となり、PIMCO設立以来の強みである債券投資の分野での未来を広げると同時に、オルタナティブ投資の分野でも豊富な経験とグローバルなリソースを最大限に生かし、日本のお客様に新たな投資機会を幅広く提供してまいります。

正直 知哉

マネージング・ディレクター
共同代表者 兼 アジア
太平洋共同運用統括責任者

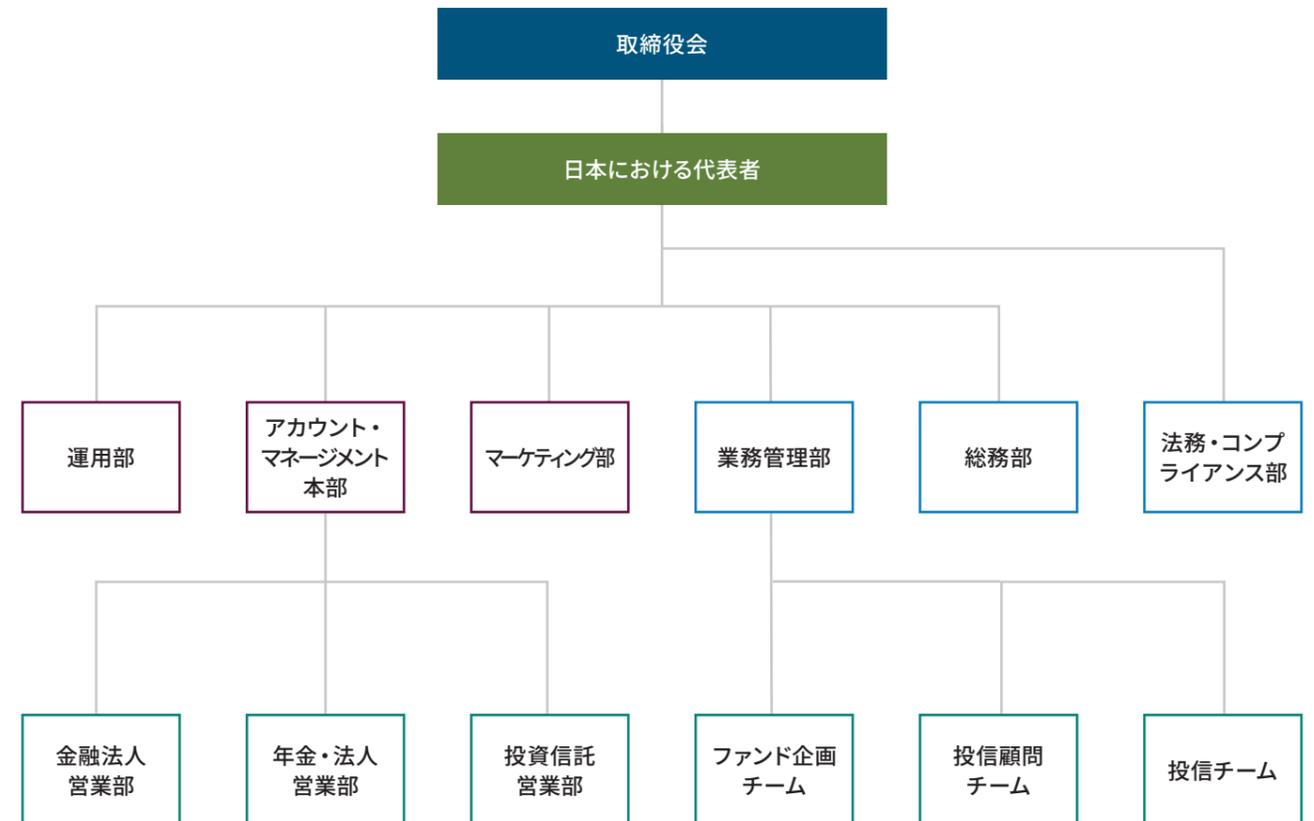
ベンジャミン・ ファーガソン

マネージング・ディレクター
共同代表者
クライアント及び
ビジネスマネジメント



*虎ノ門ヒルズステーションタワー。
2024年5月20日に移転予定。

ピムコジャパンリミテッド組織図



(2024年3月時点)

資産運用業界の 「Thought Leader (ソート・リーダー)」を 自負するPIMCOは、 独自の見解を 様々な形で皆様 お届けしています

セミナー・イベント

PIMCOの経済見通しをお伝えするセミナーや、業界動向を踏まえた幅広いトピックについてのセミナーを、オンライン形式も含め定期的に開催しています。

定期的に行っている代表的なセミナー

PIMCO スピーカーズ・シリーズ

PIMCOの最新マクロ経済見通しをご報告しています。

PIMCO インベスターズ・フォーラム

最新のマクロ経済見通しや投資環境を踏まえ、注目の投資戦略をご紹介します。



市場関連コンテンツ

市場関連コンテンツ

運用のお役に立つ各種情報を定期的にレポート、ブログ、ビデオなど様々な形式でウェブサイトに掲載しています。

長期・短期経済展望レポート(年4回)

年4回開催される経済予測会議での議論をうけて作成される、PIMCOが考える長期(年1回)または短期(年3回)の経済展望をまとめたレポートです。

インベストメント・コミッティーの見方(年4回)

経済展望を受けたPIMCOの運用戦略の指針に対する見方をご紹介します。

アセットアロケーション展望(年2回)

経済展望を受け、ポートフォリオにおけるアロケーションの考え方、PIMCOのリスクとリターンのバランスに対する見方をご紹介します。

PIMCOの視点

PIMCOのソートリーダーとしての市場、戦略に関する知見、最新情報をご紹介します。

PIMCOブログ

注目のマクロ経済動向並びに、市場動向についての見方をブログ形式でお届けしています。

投資の基礎

PIMCOが長年培ってきた知見や独自の視点を生かし、債券投資に関する初級から中級までの実用的な内容をウェブサイトや冊子の形でお届けしています。

債券の基礎

債券価格と金利の関係性、インフレーションと投資への影響、物価連動債といった債券投資の基礎知識をはじめ、ESG投資やオルタナティブ投資など、幅広いトピックを中級者向けにご紹介しています。

PIMCOレポート配信登録サービスのご案内

ご登録いただいた方には、ご希望のカテゴリーに関する新しいコンテンツが発行された際、いち早くメールにてお知らせしています。レポート配信は以下のURL、またはQRコードからご登録いただけます。

<https://subscriptions.pimco.com/ja-jp>



社会によい変化をもたらす

PIMCOは、私たちが働き、生活する地域社会に対して変化を起こすための活動に取り組んでいます。それは投資先からのリターンを最大限求めることだけでなく、社員一人ひとりが社会的責任を果たすことを意味します。PIMCOが社会的責任を果たすために構築したプラットフォームは、お客様、社員、そして地域社会への価値観を表したものです。

PIMCOの存在意義 (Purpose at PIMCO)

PIMCOは、社会に意義のある変化をもたらすための機会、そしてその責任と義務について重要だと考えています。国連の持続可能な開発目標 (SDGs)、なかでも“飢餓をゼロに” (目標2) と“男女平等の実現” (目標5) を人類の発展と世界経済の持続可能な成長のために解決しなければならない重要な問題と考え、それらを実現するための活動に重点的に取り組んでいます。



PIMCO Gives: ライフラインの整備のような重要な支援や、革新的な改善を必要としている世界中の人たちを支援するために、実績のある非営利団体に寄付をしています。



PIMCO Acts: PIMCO社員の時間やスキル、専門性を生かし、地域社会およびグローバルに意義のある変化をもたらすための活動を行っています。



PIMCO Advocates: 資産運用業界において新しいソリューションを導き出し、変化を提唱するソート・リーダーとして、また戦略的パートナーとしてリーダーシップを発揮することを目指しています。

コーポレート・サステナビリティ

PIMCOは健全な市場には、基盤となる健全な社会が必要だと考えています。環境破壊、健康危機、社会的不平等といった脅威に世界が取り組まなければ、人、社会、経済は発展することはできません。こうした観点から、国連の持続可能な開発目標 (SDGs) は今まで以上に重要になっています。PIMCOは、世界中の債券発行体との長期的な関係を生かし、お客様に新たな投資機会を発掘するとともに、発行体との積極的なエンゲージメント (対話) を通じてポジティブな変化をもたらす、持続可能な債券市場の成長を支援することを目指しています。同時に、PIMCO自身も企業としてサステナビリティに尽力しており、環境への影響を最小限に抑える事業運営を行っています。

インクルージョン&ダイバーシティ (I&D)

PIMCOが50年以上にわたり債券運用においてリーダーシップをとることができたのは、様々な視点を受け入れる企業文化があったからです。PIMCOは多様な視点や考え方が、お客様と社員により良い結果をもたらすと信じ、インクルージョンとダイバーシティの環境を育むことに尽力しています。

様々なプログラムを通じて従業員をつなぎ、同じ価値観を共有し、コミュニティー構築を支援しています。

PIMCOのインクルージョン&ダイバーシティ (I&D) ・プログラム

| | |
|-------------------|--------------|
| PIMCO | PIMCO |
| — Black — | — Families — |
| PIMCO | PIMCO |
| — Multicultural — | — Veterans — |
| PIMCO | PIMCO |
| — Women — | — Pride — |
| PIMCO | PIMCO |
| — Juntos — | — LEAP — |

PIMCOは、LGBT Great Inclusion Index Benchmarking Tracker (iIBT)によるゴールドスタンダードを獲得しました。これは性的指向、ジェンダーアイデンティティ、ジェンダー表現に関わらず、全従業員をインクルーシブに支援する環境を提供するというPIMCOのコミットメントの表れです。



PIMCOは、2023年もボランティア活動専門の世界最大非政府組織であるPoints of Lightが米国で最も地域社会志向が強い企業を表彰する「The Civic 50」を受賞しました。同賞の受賞は計7回目となり、11年の歴史の中で継続受賞している数少ない企業の一社です。



2011年、PIMCOは国連責任投資原則 (UN PRI) の署名機関となりました。



PIMCOグループの代表的な受賞歴

米国モーニングスター社 年間最優秀債券マネージャー賞

| 2012年 | 2013年 | 2015年 | 2020年 | 2021年 |
|----------------|-------------------------|----------------------|------------------------|-----------------------|
| コーポレート・クレジット戦略 | インカム 戦略 | ショート・ターム 戦略 | インベスティング・エクセレンス | インベスティング・エクセレンス |
| マーク・キーセル | ダン・アイバシン、 アルフレッド・ムラタ | ジェローム・シュナイダー、 チーム | ライジング・タレント モヒト・ミッター | ライジング・タレント ソナリ・ピエル |

モーニングスター社 各国における受賞*

| オーストリア、ドイツ、 スペイン、ルクセンブルク | オーストラリア | シンガポール | 香港 | 欧州 |
|-----------------------------------|--|--------------------------------|---------------------------------------|--|
| 2015年 年間最優秀資産運用 会社賞、大規模債券部門 | 2015年-2017年 年間最優秀 マネージャー賞、 債券部門 | 2015年 年間最優秀資産 運用会社賞、債券部門 | 2015年, 2017年 年間最優秀資産 運用会社賞、債券部門 | 2020年 インベスティング・エクセレンス ライジング・タレント ロレンツォ・パガーニ |

トムソン・ロイター・リッパー米国ファンド・ファミリー・アワード**

| 2010年-2013年 | 2019年 |
|-------------|-------------|
| 大型株 | 大企業(全体)、大型株 |

マーサージャパン社 マーサーMPA(JAPAN) アワード***

| 2007年, 2008年, 2010年- 2017年, 2019年 | 2011年、2013年 |
|--------------------------------------|--------------------|
| 外国債券(5年) | 国内債券(3年) 2011年は特別賞 |

R&Iファンド大賞****

| 2021年 |
|--|
| 確定給付年金(DB) 外国債券エマージング部門: エマージング債券戦略 2021年、2022年国内債券部門: 日本債券コア運用2023年 |

グリニッチ・クオリティ・リーダー

| 2021年 |
|---|
| ピムコジャパン、日本総合・機関投資家 インベストメント・マネジメント・サービス・ クオリティ賞 |



ピムコジャパンリミテッド会社概要

| | | | |
|---------------|---|--------|--|
| 会社名 | ピムコジャパンリミテッド | 役員員数 | 80名(非常勤取締役2名を含む) |
| 日本における 代表者 | マネージング・ディレクター 共同代表者 兼 アジア太平洋共同運用統括責任者 正直 知哉 マネージング・ディレクター 共同代表者 クライアント及びビジネスマネジメント ベンジャミン・ファーガソン | 主要業務 | 1. 投資運用業 2. 投資助言・代理業 3. 第二種金融商品取引業 |
| 住所 | 東京都港区虎ノ門4-1-28 虎ノ門タワーズオフィス 18階 *2024年5月20日に下記に移転予定 東京都港区虎ノ門2-6-1 虎ノ門ヒルズ ステーションタワー 19階 | 登録番号 | 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第382号 |
| 電話番号 | 03-5777-8150(代表) *2024年5月20日より03-4567-3500(代表) | 加入協会 | 一般社団法人 日本投資顧問業協会 一般社団法人 投資信託協会 一般社団法人 第二種金融商品取引業協会 |
| 設立年月日 | 1997年12月16日 | 受託資産残高 | PIMCOグループの日本における受託資産残高 13兆507億円 うち 国内年金 2兆7,093億円 金融機関/その他法人 7兆7,114億円 投資信託商品 2兆6,300億円 (2023年12月29日時点の1米ドル=140.980円で換算) |
| 資本金 | 13,411,674.44米ドル | | |
| 株主 | ピムコ・グローバル・アドバイザーズ・エルエルシー100% | | |

2023年12月31日時点。

当該評価は過去の一定期間の実績を分析したものであり、将来の運用成果を保証または示唆するものではありません。受賞は一部を掲載したものです。個別の商品への言及は当該商品の推奨や勧誘を意図するものではありません。

The Morningstar Fixed Income Fund Manager of the Year award is based on the strength of the manager, performance, strategy and firm's stewardship. This information is provided for information purposes only, to demonstrate manager capabilities. It is neither an offer to sell nor a solicitation of an offer to buy interest/ share in the U.S. fund. The U.S. fund is not registered or available for sale outside of the U.S. This information should not be considered as investment advice or a recommendation of any particular security, strategy or investment product. Morningstar Awards 2024. © Morningstar, Inc. All Rights Reserved.

Morningstar Rising Talent Award. Morningstar presents the Rising Talent Award to an up-and-coming manager in Morningstar's coverage universe. The manager must have less than seven years' tenure managing portfolios and yet has delivered exceptional results to investors over that span of time. Morningstar's manager research analysts conduct in-depth qualitative analyses in order to select nominees and, subsequently, vote to determine the award winner. To qualify for the award, the manager's strategy must earn a Morningstar Analyst Rating of Gold, Silver or Bronze, for at least one vehicle and/or share class, or be featured in Morningstar Prospects, a publication highlighting investments that Morningstar analysts are following closely but have not yet received full coverage.

* The Morningstar Australian Fund Manager of the Year Award identifies and recognizes the Australia-domiciled fund manager which, in Morningstar's opinion, has demonstrated funds management excellence across multiple asset classes in the year for which the award has been made. Morningstar Best Fund House is a quantitatively driven award that recognizes fund management companies that have delivered sustained outperformance on a risk-adjusted basis across their fund line-ups. Morningstar Awards 2024 ©. Morningstar, Inc. All Rights Reserved

** The Lipper Fund Awards, granted annually, highlight funds and fund companies that have excelled in delivering consistently strong risk-adjusted performance relative to their peers. From Lipper Fund Awards from Refinitiv, ©2024. All rights reserved.

*** 詳細については、マーサージャパンのホームページをご覧ください。(www.mercer.co.jp)

**** 「R&Iファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。



当資料は、一般的な情報提供を目的にピムコジャパンリミテッド(以下、「弊社」)が作成したものです。投資助言や特定の有価証券、戦略、もしくは金融商品の売買の勧誘や推奨を目的とするものではありません。

記載された情報は充分信頼できるものであると考えておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。意見や見通しはあくまで作成日における弊社の判断に基づくものであり、今後予告なしに変更されることがあります。運用状況、市場動向、コメント等は、過去の一時点あるいは過去の一定期間についてのものであり、過去の実績は将来の運用成果を保証または示唆するものではありません。また記載された投資戦略等は全ての投資家の皆様に適合するとは限りません。当資料は法律、税務、会計面での助言の提供を意図するものではありません。

運用を行う資産の評価額は、組入有価証券等の価格、デリバティブ取引等の価値、金融市場の相場や金利等の変動、及び組入有価証券の発行体の財務状況や信用力等の影響を受けて変動します。また、外貨建資産に投資する場合は為替変動による影響も受けます。したがって投資元本や一定の運用成果が保証されているものではなく、損失をこうむることがあります。運用によって生じた損益は、全て投資家の皆様に帰属します。弊社が行う金融商品取引業に関してお客様にご負担頂く手数料等には、弊社に対する報酬及び有価証券等の売買手数料や保管費用等の諸費用がありますが、それらの報酬及び諸費用の種類ごと及び合計の金額・上限額・計算方法は、投資戦略や運用の状況、期間、残高等により異なるため表示することができません。

当資料及び記載されている情報に関する権利は弊社に帰属します。したがって、弊社の書面による同意なくしてその全部もしくは一部を複製またはその他の方法で配布することはご遠慮ください。

PIMCOは、アリアンツ・アセット・マネジメント・オブ・アメリカ・エルエルシーの米国およびその他の国における商標です。

別途記載のない限り、本資料の内容は2024年2月末時点のものです。

(注)PIMCOはパシフィック・インベストメント・マネジメント・カンパニー・エルエルシーを意味し、その関係会社を含むグループ総称として用いられることがあります。

ピムコジャパンリミテッド

〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-1-28 虎ノ門タワーズオフィス18階 TEL: 03-5777-8150

*2024年5月20日に右記に移転予定。東京都港区虎ノ門2-6-1 虎ノ門ヒルズステーションタワー19階 03-4567-3500 (代表)

金融商品取引業者: 関東財務局長(金商) 第382号

加入協会: 一般社団法人 日本投資顧問業協会、一般社団法人 投資信託協会、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会